

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

# 第13回日本トライアスロン選手権東京港大会

2007NTTトライアスロンジャパンカップランキングイベント最終戦  
2008北京オリンピック大陸別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会

## 大会レポート

2007年10月21日 社団法人日本トライアスロン連合



13th Triathlon National  
Championships,  
Tokyo Port, Tokyo 2007

Chapter.1  
大会概要



Chapter.1

大会概要

[http://www.jtu.or.jp/national\\_championships/](http://www.jtu.or.jp/national_championships/)

## 第13回日本トライアスロン選手権 大会概要

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

<b>大会名称</b>	第13回日本トライアスロン選手権東京港大会 2007NTTトライアスロンジャパンカップランキングイベント最終戦 2008北京オリンピック大陸別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会
<b>開催日時</b>	2007年10月20日(土) 選手受付・競技説明会 2007年10月21日(日) 08:30～スタートセレモニー 08:40～女子スタート 11:00～男子スタート 13:30～男女メダルセレモニー 15:30～2007ジャパンカップアワードパーティー(アクアシティ6F「THE OVEN」)
<b>開催場所</b>	お台場海浜公園(東京都港区) 臨海副都心トライアスロン特設会場 スイム:お台場海浜公園、バイク:臨海副都心道路、ラン:プロムナード
<b>主催</b>	日本トライアスロン連合、東京新聞・東京中日スポーツ
<b>共催</b>	東京都
<b>主観</b>	日本トライアスロン選手権東京港大会実行委員会 構成団体: 日本トライアスロン連合、東京都トライアスロン連合、東京新聞・東京中日スポーツ
<b>後援</b>	財団法人日本体育協会、財団法人日本オリンピック委員会、臨海副都心まちづくり協議会、ゆりかもめ、りんかい線(東京臨海高速鉄道)、港区スポーツふれあい文化健康財団
<b>協力(予定)</b>	日本トライアスロン連合東京ブロック協議会、東京レポートセンター、ホテル日航東京、ホテルグランパシフィックメリディアン、日本科学未来館、東京国際交流館、船の科学館、パレットタウン運営協議会、大江戸温泉物語、日本バナナ輸入組合、港区トライアスロン連合
<b>テレビ放送</b>	放送局: NHK BS1 放送日: 11月11日(日) 19:10～20:00(女子)/20:10～21:00(男子)
<b>特別協賛</b>	NTT東日本
<b>協賛</b>	NTT西日本、キョーリン、日本航空、アリーナ、大塚製薬、アシックス、太平エンジニアリング、リゾートトラスト、エクトス、フィエラ、プロティア・ジャパン、アスレティック・ウォーター、アクアシティお台場、デックス東京ビーチ、青山フラワーマーケット
<b>競技距離</b>	総合距離: 51.5km スイム 1.5km(2周回) / バイク 40km(8周回) ※ドラフティング許可 / ラン 10km(4周)
<b>競技規則</b>	社団法人日本トライアスロン連合競技規則に準拠

## 2007年10月20日(土)

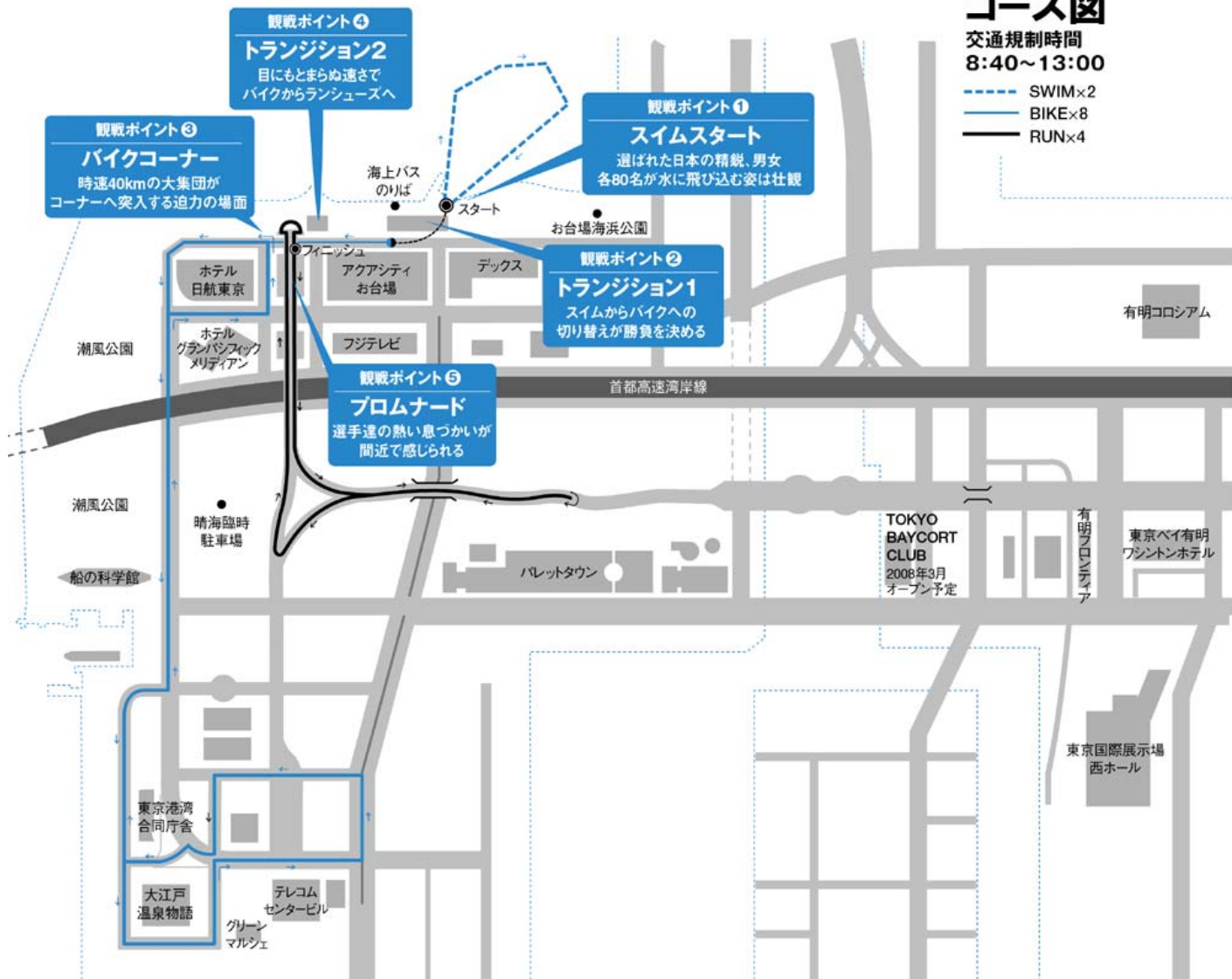
時間	実施内容	場所
10:00~12:00	技術／審判団会議	有明フロンティアビルA棟4F会議室
12:00~15:00	選手受付	有明フロンティアビルA棟4F会議室
12:00~17:00	メカニックサービス	有明フロンティアビルB棟1F西側正面玄関
13:00~14:00	報道関係受付	有明フロンティアビルA棟4F会議室
14:00~14:30	報道関係取材説明会	有明フロンティアビルA棟4F会議室
14:30~15:00	選手記者会見	有明フロンティアビルA棟4F会議室
15:00~16:00	競技説明会	有明フロンティアビルA棟4F会議室
16:00~19:00	技術／審判団会議	有明フロンティアビルA棟4F会議室

## 2007年10月20日(日)

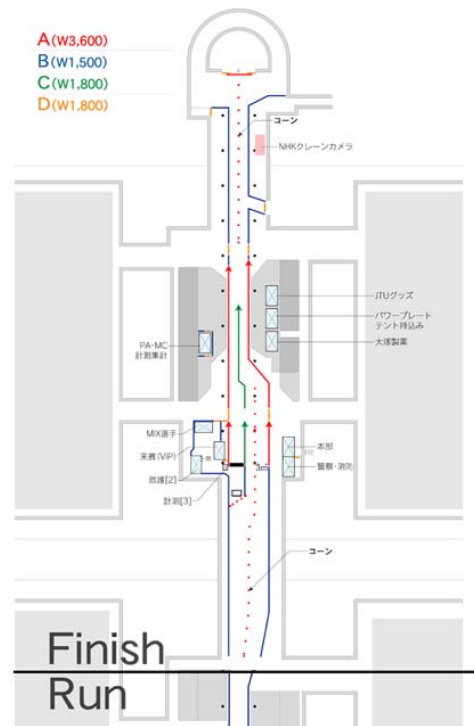
時間	実施内容	場所
07:00~08:00	女子スイム最終受付・ランセット	お台場海浜公園中央駐車場
07:00~	報道・来賓関係受付	中央駐車場/インフォメーションテント
07:00~	メカニックサービス	お台場海浜公園中央駐車場/トランジション1
08:00	潮風公園駐車場封鎖	潮風公園駐車場
08:00~08:25	女子バイクコース試走	バイクコース
08:30~	スタートセレモニー	お台場海浜公園特設スイム会場
08:40~	日本選手権女子スタート	お台場海浜公園特設スイム会場
09:30~	男子スイム最終受付・ランセット	お台場海浜公園中央駐車場
10:10~10:35	男子バイクコース試走	バイクコース
11:00~	日本選手権男子スタート	お台場海浜公園特設スイム会場
13:30頃	女子・男子メダルセレモニー(日本選手権、年間チャンピオン)	プロムナード
15:30~	2007ジャパンカップアワードパーティー	アクアシティ6F「THE OVEN」

# 大会概要 コースマップ

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



フィニッシュエリア拡大図



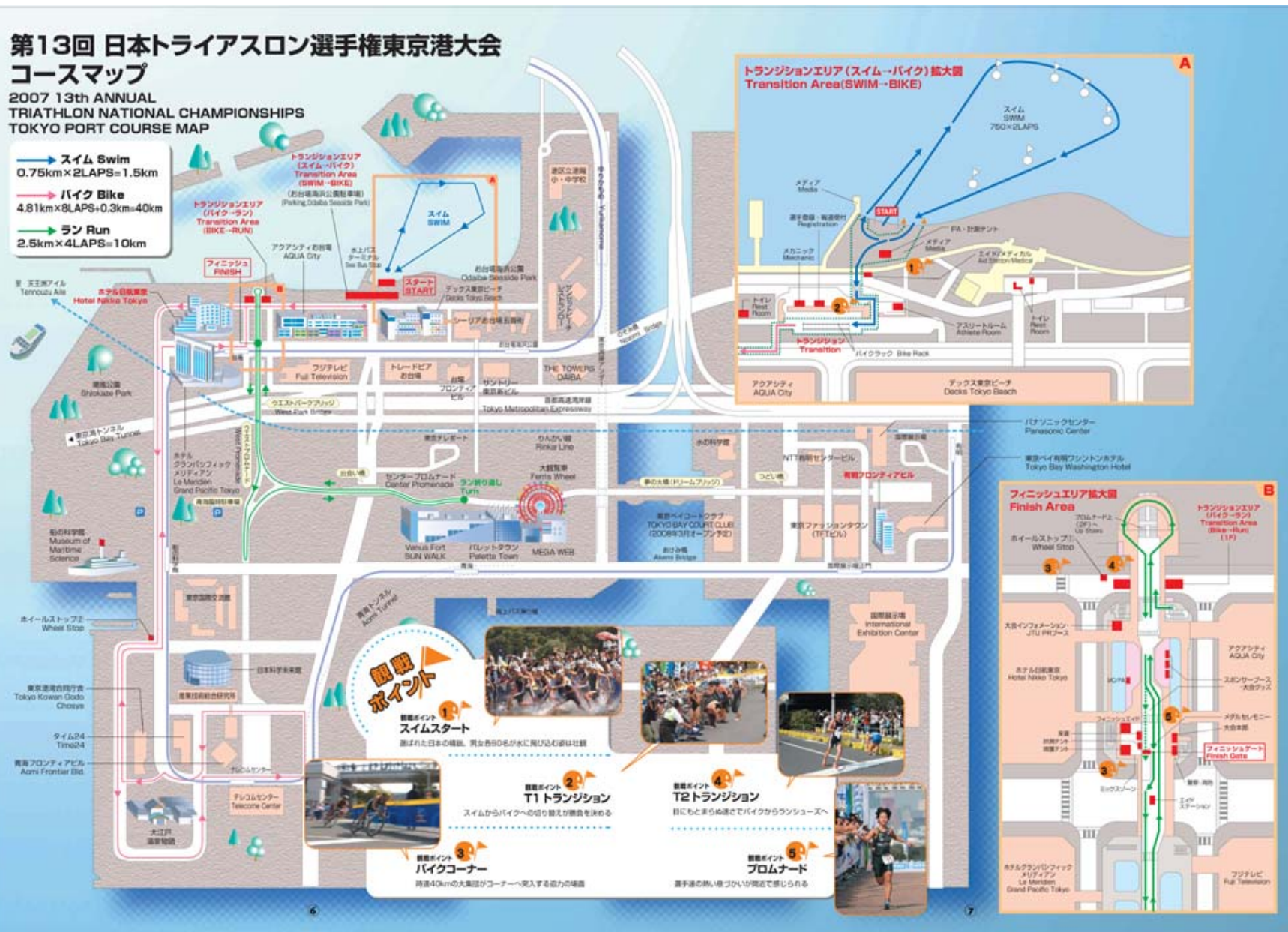
# 大会概要 コースマップ

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

## 第13回 日本トライアスロン選手権東京港大会 コースマップ

2007 13th ANNUAL  
TRIATHLON NATIONAL CHAMPIONSHIPS  
TOKYO PORT COURSE MAP

- スイム Swim  
0.75km × 2LAPS = 1.5km
- バイク Bike  
4.81km × 8LAPS + 0.3km = 40km
- ラン Run  
2.5km × 4LAPS = 10km



特別協賛 ■



協賛 ■



特別協賛 : NTT東日本

協賛 : NTT西日本、キョーリン、日本航空、アリーナ、大塚製薬、アシックス、太平エンジニアリング、リゾートトラスト、エクソス、フィエラ、プロティア・ジャパン、アスレチック・ウォーター、アクアシティお台場、デックス東京ビーチ、青山フラワーマーケット

# 記者会見・説明会 会場風景

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



会場誘導看板  
設置場所:有明フロンティアビル正面入口前



メディア受付  
場所:有明フロンティアビル



選手受付  
場所:有明フロンティアビル



選手記者会見席  
場所:有明フロンティアビル



記者会見、メディア説明会、選手説明会 会場  
場所:有明フロンティアビル



オフィシャルドリンク、ウォーター  
場所:有明フロンティアビル



# スタートエリア(スイム会場)風景

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



スイムコースは、お台場の海。お台場海浜公園からはレインボーブリッジが一望できる。



スイムスタート地点(お台場海浜公園)



スイムエリア(お台場海浜公園)



スイムゲート(お台場海浜公園) スイムは0.75kmを2周回する

# トランジションエリア風景

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



トランジションエリア(スイム→バイク)／お台場海浜公園駐車場



トランジションエリア(バイク→ラン)／お台場AQUA CITY前道路



トランジションエリア(スイム→バイク)



トランジションエリア(スイム→バイク)



バイクラック



シューズケース

# バイク&ランコース風景

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



バイクコース／臨海副都心道路(写真は日航ホテル横の道路)



ランコース／お台場プロムナード



バイクコース



バイクコース



ランコース



ランコース

# フィニッシュエリア、表彰式会場 風景

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



フィニッシュエリア風景



フィニッシュゲート



フィニッシュゲート前風景



表彰式会場

会場風景  
給水ポイント



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



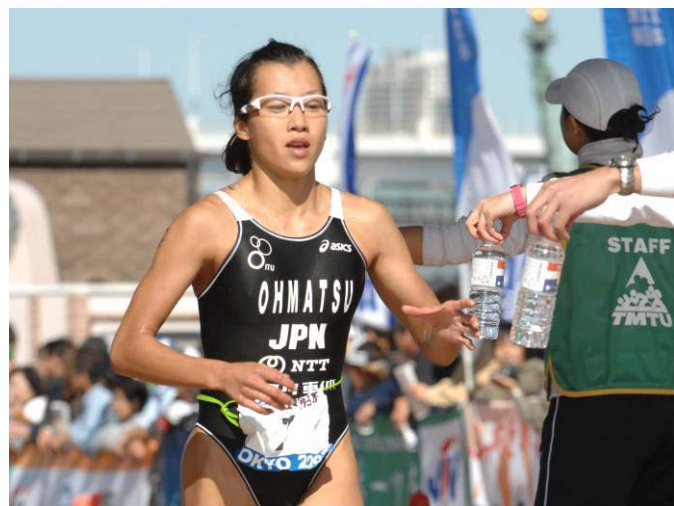
給水ポイント風景  
スイムエリア(お台場海浜公園)



給水ポイント  
ランコース(お台場プロムナード)



給水ポイント  
フィニッシュエリア横ミックスゾーン(お台場プロムナード)



給水ポイント/大松沙央里(トヨタ車体、ナショナルチーム)  
ランコース(お台場プロムナード)



給水ポイント  
ランコース(お台場プロムナード)



給水ポイント  
フィニッシュエリア横ミックスゾーン(お台場プロムナード)

# スポンサー掲出物①

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



アドバナー  
NTTトライアスロンジャパンカップ



アドバナー  
NTT 東日本(特別協賛)



アドバナー  
NTT 東日本(特別協賛)



アドバナー  
NTT 西日本



アドバナー  
キョーリン



アドバナー  
JAL(日本航空)



アドバナー  
デサントアリーナ



アドバナー  
大塚製薬「Amino-Value」



アドバナー  
大塚製薬「SOYJOY」



アドバナー  
アシックス



アドバナー  
太平エンジニアリング



アドバナー  
リゾートトラスト



アドバナー  
エクトス



アドバナー  
fieria



アドバナー  
プロテア・ジャパン

スポンサー掲出物②



アドボード450\*1800  
NTT東日本(特別協賛)



アドボード450\*1800  
NTT西日本



アドボード450\*1800  
キョーリン



アドボード450\*1800  
JAL(日本航空)



アドボード450\*1800  
大塚製薬「Amino-Value」



アドボード450\*1800  
大塚製薬「SOYJOY」



アドボード450\*1800  
太平エンジニアリング



アドボード450\*1800  
fiera

# スポンサー掲出物③

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



アドボード945\*985  
NTT東日本(特別協賛)



アドボード945\*985  
NTT西日本



アドボード945\*985  
キョーリン



フィニッシュゲート全体



アドボード945\*985  
JAL 日本航空



アドボード945\*985  
デザートアリーナ



アドボード945\*985  
大塚製薬「Amino-Value」



フィニッシュゲート全体



アドボード945\*985  
アシックス



アドボード945\*985  
太平洋エンジニアリング



アドボード945\*985  
エクスト



# スポンサー掲出物④

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



スポンサーのぼり  
特別協賛:NTT東日本



スポンサーのぼり  
特別協賛:NTT東日本 協賛:NTT西日本



スポンサーのぼり  
特別協賛:NTT東日本 協賛:NTT西日本



スポンサーのぼり  
協賛:JAL 日本航空



スポンサーのぼり  
協賛:エクトス



スポンサーのぼり  
協賛:fiera

## 日本トライアスロン選手権のあゆみと歴代チャンピオン

## 第1回大会

開催日:	1995年7月30日
大会名称:	第1回日本トライアスロン選手権長良川大会
男子優勝:	田村 嘉規(西京味噌)
女子優勝:	小林 美智子(チームニコス)

## 第2回大会

開催日:	1996年9月8日
大会名称:	第2回日本トライアスロン選手権波崎大会
男子優勝:	山口 博久(埼玉県連合)
女子優勝:	小梅川 雪絵(三田工業)

## 第3回大会

開催日:	1997年10月5日
大会名称:	第3回日本トライアスロン選手権瀬戸内大会
男子優勝:	星野 健一(千葉県連合)
女子優勝:	中西 真知子(チームNTT)

## 第4回大会

開催日:	1998年7月26日
大会名称:	第4回日本トライアスロン選手権長良川大会
男子優勝:	星野 健一(東京都連合)
女子優勝:	枇杷田 深雪(大阪信愛女学院短大)

## 第5回大会

開催日:	1999年8月8日	
大会名称:	第5回日本トライアスロン選手権長良川大会	
男子優勝:	小原 工(チームテイケイ)	1時間56分34秒
女子優勝:	小梅川 雪絵(チームテイケイ)	2時間09分51秒

## 第6回大会

開催日:	2000年7月30日	
大会名称:	第6回日本トライアスロン選手権長良川大会	
男子優勝:	斎藤 大輝(アラコ)	2時間01分02秒
女子優勝:	小梅川 雪絵(チームテイケイ)	2時間13分34秒

## 第7回大会

開催日:	2001年10月21日	
大会名称:	第7回日本トライアスロン選手権東京港大会	
男子優勝:	田山 寛豪(流通経済大学)	1時間53分04秒
女子優勝:	関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	2時間03分21秒

## 第8回大会

開催日:	2002年10月27日	
大会名称:	第8回日本トライアスロン選手権東京港大会	
男子優勝:	福井 英郎(シャクリー・稲毛ITC)	1時間51分44秒
女子優勝:	中西 真知子(NTT東日本・NTT西日本)	2時間05分47秒

## 第9回大会

開催日:	2003年11月9日	
大会名称:	第9回日本トライアスロン選手権東京港大会	
男子優勝:	西内 洋行(チームテイケイ)	1時間49分43秒
女子優勝:	庭田 清美(アシックス・ザバス)	2時間00分27秒

## 第10回大会

開催日:	2004年10月24日	
大会名称:	第10回日本トライアスロン選手権東京港大会	
男子優勝:	田山 寛豪(チームテイケイ)	1時間49分07秒
女子優勝:	関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	2時間00分57秒

## 第11回大会

開催日:	2005年10月23日	
大会名称:	第11回日本トライアスロン選手権東京港大会	
男子優勝:	平野 司(関西大学)	1時間49分30秒
女子優勝:	庭田 清美(アシックス・ザバス)	2時間00分01秒

## 第12回大会

開催日:	2006年10月22日	
大会名称:	第12回日本トライアスロン選手権東京港大会	
男子優勝:	田山 寛豪(チームテイケイ)	1時間49分33秒
女子優勝:	庭田 清美(アシックス・ザバス)	1時間59分09秒

# 2007NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ 第1戦~第10戦までの結果

開催日	大会名称		男子表彰	女子表彰
04/15	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第1戦 ITUトライアスロンワールドカップ石垣島大会		1位 カートニー・アトキンソン(オーストラリア) 2位 ベバン・ドカティ(ニュージーランド) 3位 クリス・ゲメル(ニュージーランド)	1位 バネッサ・フェルナンデス(ポルトガル) 2位 エマ・スノーシル(オーストラリア) 3位 デビー・ターナー(ニュージーランド)
05/20	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第2戦 ITUトライアスロンコンチネンタルカップ天草大会		1位 福井 英郎(トヨタ車体) 2位 西内 洋行(西京味噌) 3位 平野 司(NTT東日本・NTT西日本)	1位 忽那 静香(トーション・日東紅茶・TeamKen's) 2位 大松 沙央里(トヨタ車体) 3位 菊池 日出子(学生連合)
06/17	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第3戦 JTUSーパースプリントトライアスロン選手権酒田大会		1位 山本 淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター) 2位 宇都宮 涼太(ウイングスTC) 3位 犬童 太一(東京ヴェルディ)	1位 佐藤 優香(日本橋女学館高等学校) 2位 齋藤 磨実(Team MASA/BOMA) 3位 中島 千恵(トーション日東紅茶TeamKen's)
06/24	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第4戦 ITUトライアスロンコンチネンタルカップ蒲郡大会		1位 山本 良介(トヨタ車体) 2位 ガレス・ハルバーソン(オーストラリア) 3位 アダム・カールトン(オーストラリア)	1位 高木 美里(湘南ベルマーレ) 2位 崎本 智子(日本食研) 3位 田中 敬子(NIT 東日本・NIT 西日本・スカイタワー58)
07/01	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第5戦 ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会		1位 細田 雄一(ウイダー) 2位 ガレス・ハルバーソン(オーストラリア) 3位 ダニエル・リー(香港)	1位 古谷 あかね(トヨタ車体) 2位 ケリー・ラング(イギリス) 3位 フェリシティー・シーディ(オーストラリア)
07/08	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第6戦 日本スプリントトライアスロン選手権幕張大会		1位 細田 雄一(ウイダー) 2位 山本 良介(トヨタ車体) 3位 福井 英郎(トヨタ車体)	1位 太田 麻衣子(千葉県連合) 2位 佐藤 優香(日本橋女学館高等学校) 3位 伊藤 弥生(福岡県連合)
07/22	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第7戦 JTUSーパースプリントトライアスロン選手権小名浜港大会		1位 細田 雄一(ウイダー) 2位 西内 洋行(西京味噌) 3位 比嘉 和真(沖縄県連合)	1位 井出 樹里(トーション・日東紅茶・TeamKen's) 2位 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本) 3位 菊池日出子(チームテイケイジュニア)
08/05	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第8戦 第9回日本ジュニアトライアスロン選手権長良川大会		1位 椿 浩平(チームテイケイジュニア) 2位 宇都宮 涼太(ウイングスTC) 3位 工藤 駿(パッシュ)	1位 佐藤 優香(日本橋女学館高等学校) 2位 蔵本 葵(東京ヴェルディ) 3位 今村 優(ウイングスTC)
09/30	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第9戦 村上・笹川流れ国際トライアスロン大会		1位 犬童 太一(東京ヴェルディ) 2位 平松 幸紘(愛知県協会) 3位 平野 司(NTT東日本・NTT西日本)	1位 沢田 愛里(JR北海道) 2位 山本 奈央(愛知県立西尾高校) 3位 西 麻衣子(埼玉県連合)
09/30	NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ第10戦 JTUSーパースプリントトライアスロン選手権銚子大会		1位 山本 良介(トヨタ車体) 2位 細田 雄一(ウイダー) 3位 山本 淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)	1位 関根 明子(NTT東日本・NTT西日本) 2位 上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター) 3位 足立 真梨子(トーション日東紅茶TeamKen's)

# 注目選手情報



**3年連続制覇なるか！  
庭田清美** アシックス・ザバス

[今シーズンの主な成績]  
WC石垣島14位  
WCキッツビューエル大会 4位  
WCサルフォード大会 5位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):優勝  
第11回大会(2005):優勝  
第10回大会(2004):2位



**2007アジアの女王  
関根 明子**NTT東日本・NTT西日本

[今シーズンの主な成績]  
06アジア大会 銅メダル  
アジア選手権トンヨン大会 優勝  
SS選手権銚子大会 優勝  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):2位  
第11回大会(2005):2位  
第10回大会(2004):優勝



**次は日本選手権の表彰台！  
上田 藍**シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター

[今シーズンの主な成績]  
06アジア大会 銀メダル  
アジア選手権トンヨン大会 2位  
SS選手権銚子大会 2位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):6位  
第11回大会(2005):6位  
第10回大会(2004):15位



**期待の新星  
井出 樹里**トーション・日東紅茶・TEAM KEN'S

[今シーズンの主な成績]  
アジア選手権トンヨン大会 3位  
ワールドカップバンクーバー大会 6位  
SS選手権小名浜港大会 優勝  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):14位  
第11回大会(2005):一  
第10回大会(2004):一



**ジャパンカップランキング1位(0.30時点)  
菊池 日出子** チームテイケイジュニア

[今シーズンの主な成績]  
ITU コンチネンタルカップ天草大会 3位  
SS選手権小名浜港大会 3位  
SS選手権銚子大会 4位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):24位  
第11回大会(2005):18位  
第10回大会(2004):25位



**ジャパンカップランキング2位(0.30時点)  
佐藤 優香** 日本橋女学館高等学校

[今シーズンの主な成績]  
SS選手権酒田大会 優勝  
日本スプリント選手権幕張大会 2位  
ジュニア選手権長良川大会 優勝  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):一  
第11回大会(2005):一  
第10回大会(2004):一



**目指すは2連覇！  
田山 寛豪** チームテイケイ

[今シーズンの主な成績]  
ワールドカップ石垣島12位  
アジア選手権トンヨン大会 2位  
ワールドカップバンクーバー大会 11位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):優勝  
第11回大会(2005):2位  
第10回大会(2004):優勝



**今シーズン絶好調！  
山本 良介**トヨタ車体

[今シーズンの主な成績]  
ITUコンチネンタルカップ蒲郡大会 優勝  
日本スプリント選手権幕張大会 2位  
SS選手権銚子大会 優勝  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):9位  
第11回大会(2005):4位  
第10回大会(2004):10位



**優勝で2007チャンプなるか！  
細田 雄一**ウイダー

[今シーズンの主な成績]  
ITUコンチネンタルカップ七ヶ浜大会 優勝  
日本スプリント選手権幕張大会 優勝  
SS選手権小名浜港大会 優勝  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):33位  
第11回大会(2005):3位  
第10回大会(2004):12位



**ジャパンカップランキング3位(0.30時点)  
西内 洋行**西京味噌

[今シーズンの主な成績]  
ITUコンチネンタルカップ天草大会 2位  
アジア選手権トンヨン大会 8位  
SS選手権小名浜港大会 2位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):5位  
第11回大会(2005):9位  
第10回大会(2004):4位



**ジャパンカップランキング4位(0.30時点)  
山本 淳一** K&Y・グリーンタワー・稲毛インター

[今シーズンの主な成績]  
アジア選手権トンヨン大会 7位  
SS選手権酒田大会 優勝  
SS選手権銚子大会 3位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):6位  
第11回大会(2005):9位  
第10回大会(2004):8位



**ジャパンカップランキング5位(0.30時点)  
福井 英郎**トヨタ車体

[今シーズンの主な成績]  
ITUコンチネンタルカップ天草大会 優勝  
アジア選手権トンヨン大会 6位  
日本スプリント選手権幕張大会 3位  
[過去3年の日本選手権成績]  
第12回大会(2006):4位  
第11回大会(2005):1位  
第10回大会(2004):一

Chapter.2  
**大会模様**



Chapter.2

**大会模様**

2007年10月20日(土) 12:00～ / 有明フロンティアビル  
メディア・選手受付、メディア説明会



12:00~15:00 選手受付



13:00~14:00 報道関係受付



メディア説明会開催前



14:00~14:30 メディア説明会開催  
司会は、JTU事業広報委員 山本光宏副委員長

# 第13回日本トライアスロン選手権 選手記者会見①



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



## 14:30~ 記者会見開催

メディア説明会に引き続き、司会はJTU事業広報委員 山本光宏副委員長。7名の選手が記者会見に出席した。

左より、杉本宏樹(チームテイケイ/第12回日本選手権2位)、細田雄一(ウイダー/9月30日現在ジャパンランク2位)、山本良介(トヨタ車体/9月30日現在ジャパンランク1位)、田山寛豪(チームテイケイ/第12回日本選手権優勝)、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター/07アジア選手権2位)、関根明子(NTT東日本・NTT西日本/07アジア選手権優勝)、井出樹里(トーション・日東紅茶・TEAM KEN'S/07アジア選手権3位)

# 第13回日本トライアスロン選手権 記者会見②



田山寛豪(チームテイケイ)

明日の大会では北京オリンピックに向けて、自信がもてるような積極的なレース展開をしたい。所属しているチームや、生まれ故郷の茨城県からもたくさんの方の応援が来る。その声援をバネに4度目の優勝に向けて頑張りたいと思う。



上田 藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)

この大会は石垣島大会、アジア選手権、世界選手権、北京のワールドカップに次いで重要視している大会。今回は、本番力を出すことを目標に、しっかりと優勝できるように高地トレーニングも積んだ。明日はその結果のついてくる走りができるよう、頑張りたい。



山本 良介(トヨタ車体)

「東京港大会で勝つ」ことだけを目標に今年はやってきた。明日のレースで勝ち、日本選手権、NTTジャパンランキングのシリーズチャンピオンという2大タイトルを制して、自分の自信にしたい。それを北京オリンピックへのステップとしたい。



関根明子(NTT東日本・NTT西日本)

人を頼らず、自分でレースを組み立てて積極的な走りができるようにしていきたい。庭田選手が参加できないことは残念。勢いのある上田選手、井出選手やスイムの得意な若手の選手たちに対して、最後まで粘り強くランで追いついていける展開に持ち込みたい。





# 選手説明会



説明会開催前風景  
前列には選手記者会見に出席した選手が顔を揃える



15:00~説明会開催  
レースディレクター白戸太朗氏の挨拶



エリート男子76名、エリート女子57名 計133名のトップアスリートが全国各地より集まった

# 大会直前情報



## JTU公式リリース

発信日:10月20日

タイトル:  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報

掲載URL:  
<http://www.jtu.or.jp/news/2007/pdf/07TokyoRelease6.pdf>

	JTU NEWS RELEASE	2007年10月20日	7
	<b>今年の最終決戦に向けトップ選手が見所を語る</b> NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦 第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報		

### 日本国内の有力選手133名が、首都東京・お台場に集結

翌10月21日(日)に開催されるNTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦/第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報に先立ち、20日(土)に東京・港区の有明フロンティアビルで有力選手の記者会見が行われた。司会は、山本光宏JTU事業広報委員会副委員長。

出席した女子選手はナショナルチームの上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、関根明子(NTT 東日本・NTT 西日本)、井出樹里(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)の3名。男子選手はナショナルチームから田山寛豪(チームテイケイ)、山本良介(トヨタ車体)、細田雄一(ウイダー)と、昨年同大会で2位と健闘した杉本宏樹(チームテイケイ)の4名。

最初に各選手からレースへの意気込みと抱負が語られたあと、記者からの質問に移った。

「明日のレースでの、注目点はどこか」という問いに対し、田山は「最初から最後まで見逃さないで見てほしい。特にランでの仕掛け時にも注目してほしい」、山本は「勝つことへの執着心を見てもらいたい」と答えた。



山本光宏JTU広報委員と、記者会見に参加した有力選手7名

田山 寛豪  
(チームテイケイ)



明日の大会では北京オリンピックに向けて、自信がもてるような積極的なレース展開をしたい。所属しているチームや、生まれ故郷の茨城県からたくさん応援が来る。その声援をバネに4度目の優勝に向けて頑張りたいと思う。

上田 藍  
(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)



この大会は石垣島大会、アジア選手権、世界選手権、北京のワールドカップに次いで重要視している大会。今回は、本番力を出すことを目標に、しっかりと優勝できるように高地トレーニングも積んだ。明日はその結果のついてくる走りができるよう、頑張りたい。



	JTU NEWS RELEASE	2007年10月20日	2
	<b>今年の最終決戦に向けトップ選手が見所を語る</b> NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦 第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報		

また上田は、有力選手であった庭田清美(アシックス・ザバス)が参加できないことにも触れ、「庭田選手は自分でレースを展開できる選手なので、共に競いながらもいつも学ばせてもらった。来年の北京オリンピックに向けて、今回は海外の選手も戦っているつもりで挑みたい。最後は得意なランで勝利をたぐり寄せられるようなレースにしたいと思う」と語った。

さらに、「明日、自分がレースに参加できないとしたら誰が優勝すると思うか」との質問には、山本、細田、杉本は揃って「田山」と答えた。その田山は、「雨だったら山本良介選手、寒かったら杉本選手、バイクで少数の逃げがあれば細田選手」と答えた。

また、上田が「ウエットスーツ着用にすれば関根選手、禁止ならば井出選手」、関根は「上田選手か井出選手」、井出は「ラン勝負になれば上田選手、関根選手でデッドヒートとなる」と予想した。

明日には、互いの意地とプライドをかけた白熱したレースが予想される。東京港大会は女子が午前8時40分、男子が午前11時00分にお台場の浜辺からスタートする。



和やかな雰囲気なかで行われた記者会見。決戦は明日に迫っている

山本 良介  
(トヨタ車体)



「東京港大会で勝つ」ことだけを目標に今年はやってきた。明日のレースで勝ち、日本選手権、NTTジャパンランキングのシリーズチャンピオンという2大タイトルを制して、自分の自信にしたい。それを北京オリンピックへのステップとして。

関根 明子  
(NTT 東日本・NTT 西日本)



人を頼らず、自分でレースを組み立てて積極的な走りができるようにしていきたい。庭田選手が参加できないことは残念。勢いのある上田選手、井出選手やスイムの得意な若手の選手たちに対して、最後まで粘り強くランで追い上げていく展開に持ち込みたい。



# スタート前風景①



**NHK撮影風景** 当日は朝7時前から撮影が行われた。  
場所:トランジションエリア／お台場海浜公園



**NHK撮影風景** 総合解説山本光宏事業広報副委員長(右)と  
女子解説の山倉紀子強化委員長(中央)



朝8時前、次々と女子選手がトランジションエリアへ。



**07:00～女子最終受付**  
場所:お台場海浜公園中央駐車場



**07:00～報道関係者受付**  
場所:お台場海浜公園中央駐車場



**07:00～メカニックサービス**  
場所:お台場海浜公園中央駐車場

## スタート前風景②



### スイムウォーミングアップ風景

スタート30分前、エリート女子のスイムウォーミングアップが行われた。当日朝7時現在の気温は14.8℃、水温は20℃の快晴に。

# スタート前風景③



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



エリート女子、計測バンド配布／お台場海浜公園スイム会場



スタートセレモニー前、待機する選手たち／お台場海浜公園スイム会場



08:30 スタートセレモニー開催 まず審判団が入場した



選手入場(上田藍)



選手入場(関根明子)

2007年10月21日(日)08:40 / お台場海浜公園スイム会場

## エリート女子 スタート



### 第13回日本トライアスロン選手権東京港大会 エリート女子スタート

朝8時40分、日本全国から集まった総勢55名の選手がお台場の海に向かい、一斉にスタートした

# エリート女子競技風景 スイム



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



スイム1周目。古谷(トヨタ車体)がトップである。

スイムが得意の中島千恵が古谷に続く。



スイム1周目を終え、2周目に向かう選手たち

# エリート女子競技風景 スイム～トランジション



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



1周目と同じく、古谷あかね(トヨタ車体)がスイムをトップで通過。その後ろに中島千恵(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、村上真悠(千葉県連合)、浅沼美鈴(愛知県連合)、足立真梨子(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)らが続いた。



# エリート女子競技風景 バイク①



バイクでは、スイムのトップ集団の古谷、中島、浅沼、足立、西麻依子(埼玉県連合)、崎本智子(日本食研)、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)の7名が第1集団を形成。優勝候補の上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、井出樹里(トーション・日東紅茶・TEAM KEN'S)は第2集団に入った。



# エリート女子競技風景 バイク②



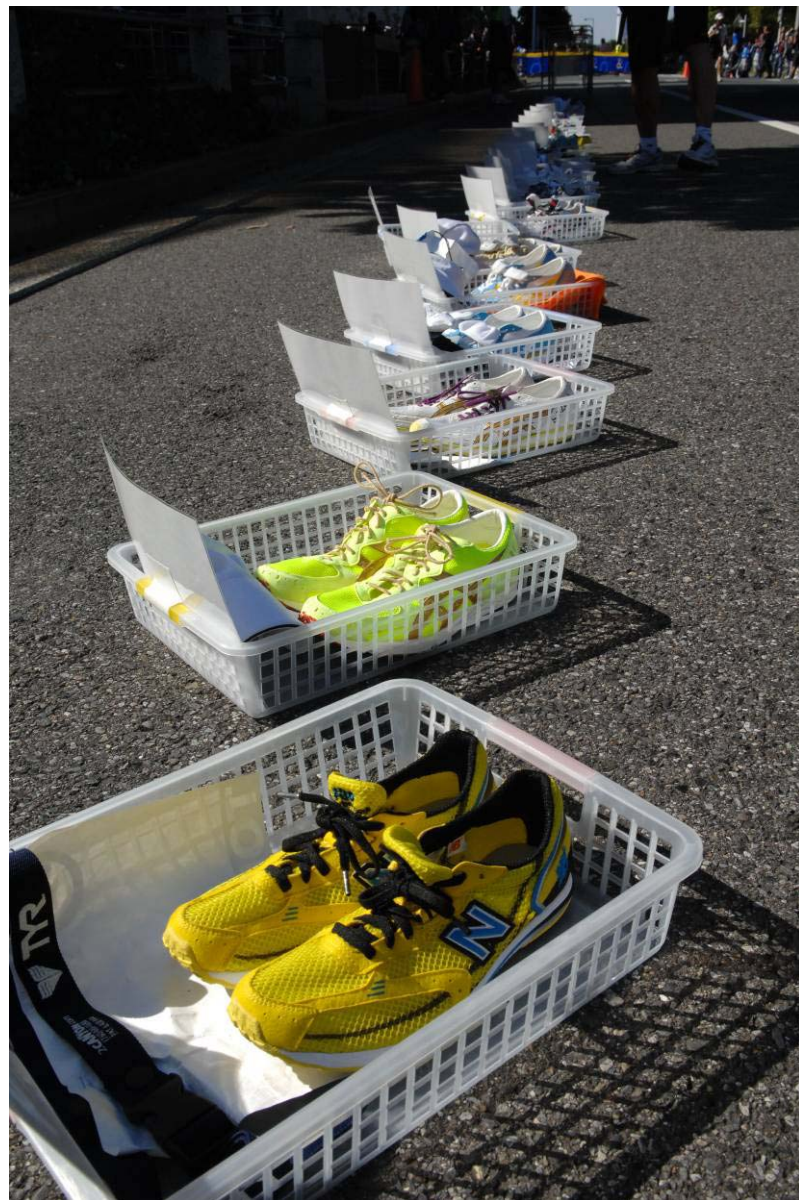
バイクの後半で16名となった第2集団は思うようにスピードが上がらない。最終周では、第1集団との差は2分10秒あまりまで広がった。



# エリート女子競技風景 トランジション～ラン



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



トランジション風景。このとき、第1集団(左)と第2集団(右)との差が2分10秒に。



2007年10月21日(日)／お台場プロムナード  
エリート女子競技風景 ラン



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



ランの前半は、スイムからの勢いそのまま古谷が1位に。後続との差も徐々に広げ、初優勝かと思われた。しかし中盤、ランを得意とする上田、関根、井出が猛追。徐々に上田、関根が古谷を追い上げ、ラン3周目終了時には上田が1位、そのあとを関根が追う展開となった。



# エリート女子競技風景 ラン～フィニッシュ



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



関根は最後まで上田を捉えることができず、そのまま上田が2時間1分56秒のタイムで初の日本選手権制覇を遂げ、2位には関根、さらに井出が3位に入った。レース後上田は、「ランの3周目でスパートすると決めていた」と、予定通りの戦い方で勝利したことを語った。



# エリート女子競技風景 フィニッシュ

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



女子2位  
関根 明子 (NTT東日本・NTT西日本)



女子3位  
井出 樹里 (トーション・日東紅茶・TEAM KEN'S)



# 観戦・応援風景



# エリート男子 スタート



第13回日本トライアスロン選手権東京港大会 エリート男子スタート

11時、日本全国から集まった総勢76名の選手が一斉にスタートした



# エリート男子競技風景 スイム



2007年10月21日(日)／お台場海浜公園

# エリート男子競技風景 トランジション



ワールドカップ北京大会でスイム2位と健闘した田山寛豪(チームテイケイ)がその力を発揮し、1位でバイクへ。その後を同じくスイムが得意の山本良介(トヨタ車体)、平野司(NTT東日本・NTT西日本)が追う。



# エリート男子競技風景 バイク



バイク序盤は、スイムをトップ通過した田山と山本良介が逃げる。



第2集団の福井が先頭になり、第1集団を追いかけるシーン。この後、第1集団の田山と山本は第2集団に吸収されてしまう。



優勝候補と言われた細田は、このとき第3集団。



第1集団と第2集団と合体し、8名の集団に。

# エリート男子競技風景 バイク



バイク第1集団は、2名から8名へ。優勝候補の一人と思われた細田雄一(ウイダー)は第2集団。



# エリート男子競技風景 バイク～トランジション



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



第1集団と第2集団の差は約1分23秒と広がり、その差が縮まらないまま、ランへと移った。



2007年10月21日(日)／お台場プロムナード  
エリート男子競技風景 ラン



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



ランでも田山の勢いは止まらない。周回を増す度に2位との差を約20秒ずつ広げる快走を続けた。



2007年10月21日(日)／お台場プロムナード  
エリート男子競技風景 ラン



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



2007年10月21日(日)／お台場プロムナード

# エリート男子競技風景 ラン～フィニッシュ



「大勢の応援を味方に付けた」田山の2年連続、4度目となる優勝となった。田山は、「今年は海外のレースで調子を保てなかった。何とか来年につながる優勝ができてよかった」と、コメントした。2位には後半で追いつけた福井が、3位には粘り強い走りで杉本が入った。





2007年10月21日(日) / お台場プロムナード

# エリート男子競技風景 フィニッシュ



2007年10月21日(日) / お台場プロムナード

# 日本トライアスロン選手権 表彰式



2007年10月21日(日)／お台場プロムナード

# NTTジャパンカップシリーズチャンピオン 表彰式



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



# 大会速報



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

## JTU公式リリース

発行日:10月21日

タイトル:  
第13回日本トライアスロン選手権  
東京港大会結果速報

掲載URL:  
<http://www.jtu.or.jp/news/2007/pdf/07TokyoRelease7.pdf>

	JTU NEWS RELEASE	2007年10月21日	7
	<b>日本選手権は女子上田が初優勝、男子田山が2連覇4勝目</b> NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦 第13回日本トライアスロン選手権東京港大会速報		

### NTTジャパンランキングチャンピオンは女子関根、男子山本良介に

10月21日(日)、東京・お台場で2007NTTトライアスロンジャパンカップランキングイベント最終戦・第13回日本トライアスロン選手権東京港大会が開催された。

本大会は今シーズンの最終戦であり、日本選手権とNTTジャパンカップシリーズチャンピオンの2大タイトルがかかる。さらに2008年北京オリンピックへの出場権が優勝すれば得られる。北京オリンピック大陸別代表選考会(アジア選手権)の日本代表選考会でもあり、国内の有力選手男女133名が集った。

午前8時40分スタートの女子は、古谷あかね(トヨタ車体)がスイムを1位で通過し、その後ろにスイムを得意とする中島千恵(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)、村上真悠(千葉県連合)、浅沼美鈴(愛知県連合)、足立真梨子(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)らが続く。

バイクに移ると、スイムのトップ集団の古谷、中島、浅沼、足立、西麻依子(埼玉県連合)、崎本智子(日本食研)、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)の7名が第1集団を形成。優勝候補の上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、井出樹里(トーン・日東紅茶・TEAM KEN'S)は第2集団に入った。

バイクの後半で16名となった第2集団は思うようにスピードが上がらない。最終周では、第1集団との差は2分10秒あまりまで広がった。

ランの前半は、スイムからの勢いそのまま古谷が1位に。後続との差も徐々に広げ、初優勝かと思われた。しかし中盤、ランを得意とする上田、関根、井出が猛追。徐々に上田、関根が古谷を追い上げ、ラン3周目終了時には上田が1位、そのあとに関根が追いつく展開となった。

結局、関根は最後まで上田を捉えることができず、そのまま上田が2時間1分56秒のタイ



お台場の大観衆を背にスタートしたスイム

田山 寛豪  
(チームテイケイ)



今年はアジア選手権で優勝を逃して、調子が狂った。スイムが不完全燃焼の戦いが続き、苦しかった。9月の北京ワールドカップでスイムが復調し、この日本選手権につなげられた。バイクで逃げようと思ったが果たせなかった。勝負にこだわって勝てたのがうれし。

上田 藍  
(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)



今年のアジア選手権では最後の競り合いに負けたので、スプリント勝負ではなく、ロングスパートしようと思った。そのため、3周目で仕掛けようとしてレース前から決めていた。スイム・バイクでできた2分10秒の差は、ランでひっくり返せると思っていた。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

	JTU NEWS RELEASE	2007年10月21日	2
	<b>日本選手権は女子上田が初優勝、男子田山が2連覇4勝目</b> NTTトライアスロンジャパンカップ・ランキングイベント最終戦 第13回日本トライアスロン選手権東京港大会速報		

ムで初の日本選手権制覇を遂げ、2位には関根、さらに井出が3位に入った。

レース後上田は、「ランの3周目でスパートすると決めていた」と、予定通りの戦い方で勝利したことを語った。

午前11時ちょうどスタートの男子は、ワールドカップ北京大会でスイム2位と健闘した田山寛豪(チームテイケイ)がその力を発揮し、1位でバイクへ。その後を同じくスイムが得意の山本良介(トヨタ車体)、平野司(NTT東日本・NTT西日本)が追う。

バイク序盤は田山と山本良介が逃げたが3周目に後続に追いつかれ、第1集団は田山、山本良介、平野、福井英郎(トヨタ車体)、山本淳一(K'S-Y・グリーンタワー・稲毛インター)、杉本宏樹(チームテイケイ)、長谷川裕一(神奈川県連合)、疋田浩気(静岡県協会)を含めた8名で形成された。

優勝候補の一人と思われた細田雄一(ウイダー)は第2集団。バイク終盤、第1集団と第2集団の差は約1分23秒と広がり、その差が縮まらないまま、ランへと移った。

ランでも田山の勢いは止まらない。周回を増す度に2位との差を約20秒ずつ広げる快走を続け、そのまま独走状態をキープした田山が1時間49分17秒のタイムで、トップでフィニッシュ。結果は、「大勢の応援を味方に付けた」田山の2年連続、4度目となる優勝となった。

田山は、「今年は海外のレースで調子を保てなかった。何とか来年につながる優勝ができてよかった」と、コメントした。2位には後半で追い上げた福井が、3位には粘り強い走りでも杉本が入った。

また、NTTジャパンカップシリーズチャンピオンのタイトルは女子は関根、男子は山本良介。U23チャンピオンは女子田中、男子細田となった。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧になれます。



男子バイクの中盤は、山本淳一(中央)、福井(左)が第1集団を牽引

山本 良介  
(トヨタ車体)



優勝したかったが、ランの1周目で離されて、なさけなかった。せめて2位に入れば、納得できた。今年は蒲郡で優勝でき、このジャパンカップチャンピオンという結果は残せた。来年につながる成果なので、北京に向けて頑張りたい。

関根 明子  
(NTT東日本・NTT西日本)



スイム、バイクで遅れたが、ランで上田選手と前の選手たちに追いついた。そのとき、一呼吸入れてしまった。そのすきに上田選手にスパートを決められ、離されてしまった。これでジャパンカップは4度目のタイトルが取れたことが収穫。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

# 公式記録 (男女各30位)



## ■エリート女子

順位	No.	氏名	年齢	所属/登録	総合記録	差
1	2	上田 藍	23	シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター	2:01:56	—
2	3	関根 明子	32	NTT東日本・NTT西日本	2:02:20	0:00:24
3	4	井出 樹里	24	トーシン・日東紅茶・TEAM KEN'S	2:03:11	0:01:15
4	5	古谷 あかね	26	トヨタ車体	2:03:28	0:01:32
5	9	田中 敬子	23	NTT東日本/NTT西日本/スカイタワー-58	2:03:50	0:01:54
6	27	崎本 智子	24	日本食研	2:04:35	0:02:39
7	6	忽那 静香	30	トーシン・日東紅茶・TEAM KEN'S	2:04:44	0:02:48
8	16	中島 千恵	24	トーシン・日東紅茶・TEAM KEN'S	2:04:51	0:02:55
9	11	足立 真梨子	24	トーシン・日東紅茶・TEAM KEN'S	2:05:21	0:03:25
10	17	佐藤 優香	15	日本橋女学館高等学校	2:05:36	0:03:40
11	12	菊池 日出子	20	チームテイケイジュニア	2:05:41	0:03:45
12	18	蔵本 葵	19	東京ヴェルディ	2:05:45	0:03:49
13	15	西 麻依子	23	埼玉県連合	2:05:53	0:03:57
14	8	中西 真知子	31	NTT東日本・NTT西日本	2:06:25	0:04:29
15	20	高橋 侑子	16	東京ヴェルディ	2:06:26	0:04:30
16	22	山本 奈央	16	愛知県立西尾高校	2:06:57	0:05:01
17	10	西内 真紀	32	エヌ・エス・アイ	2:07:13	0:05:17
18	7	大松 沙央里	25	トヨタ車体	2:07:39	0:05:43
19	19	浅沼 美鈴	26	愛知県協会	2:07:56	0:06:00
20	30	久保田 早紀	26	チームテイケイ	2:08:15	0:06:19
21	47	長谷川 麻弥	22	学連/東北大学	2:08:44	0:06:48
22	21	平出 美雨	19	チームゴーヤー	2:09:32	0:07:36
23	38	川口 綾巳	22	福岡県連合	2:09:43	0:07:47
24	13	伊藤 弥生	20	ウイングス TC	2:09:51	0:07:55
25	51	大河内 智未	25	神奈川県連合	2:09:53	0:07:57
26	29	沢田 愛里	27	JR北海道	2:10:30	0:08:34
27	32	八代 純子	27	SUNNY FISH	2:10:40	0:08:44
28	44	楠 里紗	22	東京都連合	2:10:52	0:08:56
29	37	川崎 由理奈	21	学連/明治大学	2:11:06	0:09:10
30	54	須藤 雪絵	37	愛媛県協会	2:12:24	0:10:28

## ■エリート男子

順位	No.	氏名	年齢	所属/登録	総合記録	差
1	1	田山 寛豪	25	チームテイケイ	1:49:17	—
2	5	福井 英郎	30	トヨタ車体	1:50:41	0:01:24
3	8	杉本 宏樹	25	チームテイケイ	1:51:02	0:01:45
4	2	山本 良介	28	トヨタ車体	1:51:24	0:02:07
5	9	平野 司	24	NTT東日本・NTT西日本	1:51:42	0:02:25
6	4	山本 淳一	33	K'S-Y・グリーンタワー・稲毛インター	1:51:53	0:02:36
7	7	佐藤 治伸	28	日本食研	1:52:46	0:03:29
8	3	細田 雄一	22	ウイダー	1:53:24	0:04:07
9	6	西内 洋行	32	西京味噌	1:53:51	0:04:34
10	25	平松 幸紘	24	愛媛県協会	1:54:09	0:04:52
11	10	高濱 邦晃	28	福岡県連合	1:54:23	0:05:06
12	37	岩井 信二	26	愛媛県協会	1:54:32	0:05:15
13	21	吉越 慎吾	28	三好スイミングアカデミー	1:54:53	0:05:36
14	30	益田 大貴	27	湘南ベルマーレ	1:55:05	0:05:48
15	17	外山 高広	24	東京都連合	1:55:13	0:05:56
16	16	長谷川 裕一	22	神奈川県連合	1:55:22	0:06:05
17	13	犬童 太一	24	東京ヴェルディ	1:55:40	0:06:23
18	26	三木 邦彦	26	兵庫県協会	1:55:55	0:06:38
19	19	平松 弘道	27	モロホシ・BODY TUNE・SUNNY FISH	1:56:03	0:06:46
20	24	原田 雄太郎	26	埼玉県連合	1:56:13	0:06:56
21	57	川村 好平	22	学連/早稲田大学	1:56:25	0:07:08
22	56	神田 紘輔	21	学連/近畿大学	1:56:38	0:07:21
23	29	下村 幸平	22	学連/大阪教育大学	1:56:44	0:07:27
24	69	小野 友行	22	神奈川県連合	1:56:45	0:07:28
25	64	原 智哉	22	学連/明治大学	1:56:50	0:07:33
26	48	武友 潤	23	福岡県連合	1:56:56	0:07:39
27	74	原田 雄紀	20	学連/専修大学	1:57:15	0:07:58
28	15	宇都宮 涼太	18	ウイングスTC	1:57:47	0:08:30
29	68	疋田 浩気	35	静岡県協会	1:57:48	0:08:31
30	20	桑原 寛次	27	チームゴーヤー	1:57:51	0:08:34

※公式記録の詳細は右記URLをご覧ください([http://www.jtu.or.jp/national\\_championships/result.html](http://www.jtu.or.jp/national_championships/result.html))



13th Triathlon National  
Championships,  
Tokyo Port, Tokyo 2007

Chapter.3  
告知・広報



Chapter.3 告知・広報

[http://www.jtu.or.jp/national\\_championships/](http://www.jtu.or.jp/national_championships/)







# JTUメールニュースの配信



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

JTUメールニュースNo.78 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月17日 12:51  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.78

JTUメールニュースNo.78

第13回日本トライアスロン選手権の公式HP開設  
2007年10月10日(水)

日本選手権の最新情報はここでチェック!

10月21日(日)に東京・お台場で開催される、2007NTTトライアスロンジャパンカップシリーズ最終戦/第13回日本トライアスロン選手権東京港大会の公式ホームページが開設されました。今年もジャパンカップシリーズの大会日程も合わせて行われるほか、2008年の北京オリンピックに向けた最後の日本選手権でもあり、2008年北京オリンピックが特別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会も兼ねています。そのため、出場するすべての選手にとって重要な大会です。

この日本選手権で優勝すると、来年のアジア選手権への出場権が得られます。そしてアジア選手権で優勝すれば北京オリンピックの日本代表となります。

ホームページには、後出場予定の日本ナショナルチームをはじめとする注目選手の最新情報や、当日日本選手権特別リポートライブ中継、公式記録と過去の大会情報が掲載されています。そのほか、大会終了後は後援者、後援の視察を掲載の掲載を写真で掲載したレスポンスなども随時アップされる予定です。

レースの日はもちろん、選手やメディア関係者の皆さまにも役立つ情報が入手できるのでは、ぜひご覧ください。

ホームページのご案内  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会公式HP  
2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(アジア選手権)日本代表選考会

**JTUメールニュースNo.78**  
「第13回日本トライアスロン選手権の公式HP開設」  
2007年10月3日配信

JTUメールニュースNo.79 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月17日 12:52  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.79

JTUメールニュースNo.79

今シーズン最後の戦いは、首都東京・お台場で  
2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(10/21開催)

北京を目指す有力選手、男子76名、女子60名が参加

10月21日(日)、第13回日本トライアスロン選手権東京港大会が、2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦として、そして今年(2007)北京オリンピックが特別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会も兼ねて、首都東京・お台場で開催されます。

日本選手権とジャパンカップシリーズの2大タイトルをかけて行われる本大会では、毎年多くの観客が見守る中、国内トップ選手たちによる白熱したレースが繰り広げられます。

5月に今年の優勝者となるアジア選手権への出場権が争われることになりました。そのアジア選手権で優勝すれば、北京オリンピックの日本代表となります。そのため、東京港大会はすべての参加選手にとって重要な大会となります。

本大会には国内の有力選手、男子76名、女子60名の日本代表選手が参加します。男子の注目選手は山田隆之介(山本良介)、野呂浩之(山本良介)、藤田健一(ウイダー)ら日本ナショナルチーム、そしてそのほか遠征選手(山本良介、山本良介、山本良介、山本良介)らも参加します。また、海外から遠征してきた選手も参加します。

女子ではお台場から山田隆之介(山本良介)、関根明子(NTT東日本・NTT西日本)らナショナルチームの常連、上田亜由美(山本良介)や新鋭の井出樹生(山本良介)やTEAM KENSU(山本良介)らによる白熱したレースが繰り広げられます。観客も東京港大会などの未来を担う選手も参加します。

なお、レースに先立つ10月20日(土)には、下記のとおりメディア説明会と有力選手記者会見が行われますので、大会と合わせてご参加いただけますようお願い申し上げます。

**JTUメールニュースNo.79**  
「今シーズン最後の戦いは、首都東京・お台場で」  
2007年10月10日配信

JTUメールニュースNo.80 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月17日 15:53  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.80

JTUメールニュースNo.80

今年のNTTジャパンカップチャンピオンは誰の手に  
2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(10/21開催)

総勢134名が、実力とプライドをかけてしのぎを削る

10月21日(日)、東京・お台場で開催される日本トライアスロン選手権東京港大会は、2008年北京オリンピックが特別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会となり、優勝すればアジア選手権で出場できる。そのアジア選手権で優勝すれば、北京オリンピック出場が決まります。

また、今年もジャパンカップシリーズの2大タイトルをかけて行われる本大会であり、今年のNTTジャパンカップランキンギングイベント最終戦として、そして今年(2007)北京オリンピックが特別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会も兼ねています。そのため、出場するすべての選手にとって重要な大会です。

この日本選手権で優勝すると、来年のアジア選手権への出場権が得られます。そしてアジア選手権で優勝すれば北京オリンピックの日本代表となります。

ホームページには、後出場予定の日本ナショナルチームをはじめとする注目選手の最新情報や、当日日本選手権特別リポートライブ中継、公式記録と過去の大会情報が掲載されています。そのほか、大会終了後は後援者、後援の視察を掲載の掲載を写真で掲載したレスポンスなども随時アップされる予定です。

レースの日はもちろん、選手やメディア関係者の皆さまにも役立つ情報が入手できるのでは、ぜひご覧ください。

ホームページのご案内  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会公式HP  
2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(アジア選手権)日本代表選考会

**JTUメールニュースNo.80**  
「今年のNTTジャパンカップチャンピオンは誰の手に」  
2007年10月17日配信

JTUメールニュースNo.81 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月20日 17:48  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.81

JTUメールニュースNo.81

今年の最終決戦に向けトップ選手が見所を語る

NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報

日本国内の有力選手133名が、首都東京・お台場に集結

10月21日(日)に開催されるNTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦/第13回日本トライアスロン選手権東京港大会直前情報に先立ち、20日(土)に「東京・お台場の有明アリーナ」で、今年もジャパンカップシリーズの大会日程も合わせて行われるほか、2008年の北京オリンピックに向けた最後の日本選手権でもあり、2008年北京オリンピックが特別代表選考会(アジア選手権)日本代表選考会も兼ねています。そのため、出場するすべての選手にとって重要な大会です。

この日本選手権で優勝すると、来年のアジア選手権への出場権が得られます。そしてアジア選手権で優勝すれば北京オリンピックの日本代表となります。

ホームページには、後出場予定の日本ナショナルチームをはじめとする注目選手の最新情報や、当日日本選手権特別リポートライブ中継、公式記録と過去の大会情報が掲載されています。そのほか、大会終了後は後援者、後援の視察を掲載の掲載を写真で掲載したレスポンスなども随時アップされる予定です。

レースの日はもちろん、選手やメディア関係者の皆さまにも役立つ情報が入手できるのでは、ぜひご覧ください。

ホームページのご案内  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会公式HP  
2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(アジア選手権)日本代表選考会

**JTUメールニュースNo.81**  
「今年の最終決戦に向けトップ選手が見所を語る」  
2007年10月20日配信

JTUメールニュースNo.82 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月21日 11:04  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.82

JTUメールニュースNo.82

東京港大会、女子は上田が初優勝

NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(女子)結果速報

第13回日本選手権東京港大会、女子は上田(ジャッキー・グリーンタワー)が初優勝、2位に関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、3位に井出樹生(山本良介・TEAM KENSU)。

この記者へのお願い合わせ「お台場日本トライアスロン選手権」事務局  
TEL:0549-5401(1F)  
広報担当:090-3204-3126 / 090-1482-0828

発行: (社)日本トライアスロン連合  
ホームページURL: <http://www.jtu.or.jp/>  
このメールの配信を希望しない方、またはご意見・ご要望は、[juoffice@jtu.or.jp](mailto:juoffice@jtu.or.jp)までご連絡ください。  
このメールニュースの全文または一部の文章をホームページ、メーリングリスト、ニュースグループまたは他のメディア等に転載する場合は、出典・日時などを明記してください。

**JTUメールニュースNo.82**  
「東京港大会、女子は上田が優勝」  
2007年10月21日配信

JTUメールニュースNo.83 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月21日 13:02  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.83

JTUメールニュースNo.83

男子は田山が2連覇、4度目となる優勝

NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(男子)結果速報

第13回日本選手権東京港大会、男子は田山(ジャッキー・グリーンタワー)が2連覇、2位に山田隆之介(山本良介)、3位に杉本龍一(山本良介)。

この記者へのお願い合わせ「お台場日本トライアスロン選手権」事務局  
TEL:0549-5401(1F)  
広報担当:090-3204-3126 / 090-1482-0828

発行: (社)日本トライアスロン連合  
ホームページURL: <http://www.jtu.or.jp/>  
このメールの配信を希望しない方、またはご意見・ご要望は、[juoffice@jtu.or.jp](mailto:juoffice@jtu.or.jp)までご連絡ください。  
このメールニュースの全文または一部の文章をホームページ、メーリングリスト、ニュースグループまたは他のメディア等に転載する場合は、出典・日時などを明記してください。

**JTUメールニュースNo.83**  
「男子は田山が2連覇、4度目となる優勝」  
2007年10月21日配信

JTUメールニュースNo.84 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月21日 15:56  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.84

JTUメールニュースNo.84

日本選手権東京港大会、女子は上田が初優勝、男子田山が2連覇4勝目

NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(結果速報)

10月21日(日)、東京・お台場で2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦/第13回日本トライアスロン選手権東京港大会が開催された。優勝は女子は上田(ジャッキー・グリーンタワー)が初優勝、2位に関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、3位に井出樹生(山本良介・TEAM KENSU)。

男子は田山(ジャッキー・グリーンタワー)が2連覇、2位に山田隆之介(山本良介)、3位に杉本龍一(山本良介)。

この記者へのお願い合わせ「お台場日本トライアスロン選手権」事務局  
TEL:0549-5401(1F)  
広報担当:090-3204-3126 / 090-1482-0828

発行: (社)日本トライアスロン連合  
ホームページURL: <http://www.jtu.or.jp/>  
このメールの配信を希望しない方、またはご意見・ご要望は、[juoffice@jtu.or.jp](mailto:juoffice@jtu.or.jp)までご連絡ください。  
このメールニュースの全文または一部の文章をホームページ、メーリングリスト、ニュースグループまたは他のメディア等に転載する場合は、出典・日時などを明記してください。

**JTUメールニュースNo.84**  
「女子上田が初優勝、男子田山が2連覇4勝目」  
2007年10月21日配信

JTUメールニュースNo.85 - 日本語 (自動配信)

送信者: JTU4-6-1-3  
日時: 2007年10月21日 17:11  
宛先: "Unlock@Recruit"@nifty.com  
件名: JTUメールニュースNo.85

JTUメールニュースNo.85

日本選手権は女子上田が初優勝、男子田山が2連覇4勝目

NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦  
第13回日本トライアスロン選手権東京港大会(結果速報)

10月21日(日)、東京・お台場で2007NTTトライアスロンジャパンカップランキンギングイベント最終戦/第13回日本トライアスロン選手権東京港大会が開催された。優勝は女子は上田(ジャッキー・グリーンタワー)が初優勝、2位に関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、3位に井出樹生(山本良介・TEAM KENSU)。

男子は田山(ジャッキー・グリーンタワー)が2連覇、2位に山田隆之介(山本良介)、3位に杉本龍一(山本良介)。

この記者へのお願い合わせ「お台場日本トライアスロン選手権」事務局  
TEL:0549-5401(1F)  
広報担当:090-3204-3126 / 090-1482-0828

発行: (社)日本トライアスロン連合  
ホームページURL: <http://www.jtu.or.jp/>  
このメールの配信を希望しない方、またはご意見・ご要望は、[juoffice@jtu.or.jp](mailto:juoffice@jtu.or.jp)までご連絡ください。  
このメールニュースの全文または一部の文章をホームページ、メーリングリスト、ニュースグループまたは他のメディア等に転載する場合は、出典・日時などを明記してください。

**JTUメールニュースNo.85**  
「女子上田が初優勝、男子田山が2連覇4勝目」  
2007年10月21日配信

新聞展開・・・大会開催前記事の一例



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

10月1日東京新聞

### 北京へ 夢かけ

秋の臨海湖心の風詩  
 となった日本トライアスロン選手権東京大会。雲貴を「十一日、お台場浜公園（シンボルロード）で開催するが、十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

男子は日本選手権、2007年、アリスチャンピオン、さらには来年四月に中国広州で行われるアジア選手権の出場権を争う。その先は北京オリンピック出場への夢を懸ける。スラム、バイク、ランを織り交ぜた競技の魅力をあきらめず、

本紙は大会前夜の特集をお送りします。十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

◇競技開始 午前8時30分（女子）  
 午前11時（男子）・お台場海浜公園  
 ◇主催 東京新聞・東京中日スポーツ、日本トライアスロン連合  
 ◇共催 東京都  
 ◇特別協賛 NTT東日本

10月14日 日刊スポーツ

### 21日に台場で第13回日本トライアスロン選手権

## 日本王座をかけた戦い

女子は庭田ら3強、男子は田山、杉山中心

NTT TRIATHLON JAPAN CUP  
 Triathlon Japan National Team  
 21日に台場で第13回日本トライアスロン選手権大会が開幕する。女子は庭田ら3強、男子は田山、杉山中心が争う。大会は、お台場浜公園（シンボルロード）で行われ、十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

◇競技開始 午前8時30分（女子）  
 午前11時（男子）・お台場海浜公園  
 ◇主催 東京新聞・東京中日スポーツ、日本トライアスロン連合  
 ◇共催 東京都  
 ◇特別協賛 NTT東日本

10月19日 東京新聞／東京中日スポーツ

### 「北京」へ最大の関門

女子 上田、関根ら有力  
 男子 田山、山本が中心

北京オリンピックへの最大の関門となる。女子は上田、関根ら有力、男子は田山、山本が中心となる。大会は、お台場浜公園（シンボルロード）で行われ、十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

◇競技開始 午前8時30分（女子）  
 午前11時（男子）・お台場海浜公園  
 ◇主催 東京新聞・東京中日スポーツ、日本トライアスロン連合  
 ◇共催 東京都  
 ◇特別協賛 NTT東日本

10月21日 中日スポーツ

### 初V狙う上田 藍「バイク、ランで仕掛ける」

ぎょう日本トライアスロン選手権

東京港大会  
 本大会は、十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

◇競技開始 午前8時30分（女子）  
 午前11時（男子）・お台場海浜公園  
 ◇主催 東京新聞・東京中日スポーツ、日本トライアスロン連合  
 ◇共催 東京都  
 ◇特別協賛 NTT東日本

10月21日 東京中日スポーツ

### ドーハ銀、藍ちゃん 初V狙う

## ぎょう東京湾トライアスロン

第13回日本トライアスロン選手権大会（21日）

女子は庭田ら3強、男子は田山、杉山中心が争う。大会は、お台場浜公園（シンボルロード）で行われ、十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

◇競技開始 午前8時30分（女子）  
 午前11時（男子）・お台場海浜公園  
 ◇主催 東京新聞・東京中日スポーツ、日本トライアスロン連合  
 ◇共催 東京都  
 ◇特別協賛 NTT東日本

10月21日 東京新聞

### 連覇狙う男子、田山が軸

## トライアスロン、ぎょう東京港大会

第13回日本トライアスロン選手権大会（21日）

男子は田山、山本が中心となる。大会は、お台場浜公園（シンボルロード）で行われ、十一月十三日の大会は、内田マリア選手が、B・S・77全開で競う。

◇競技開始 午前8時30分（女子）  
 午前11時（男子）・お台場海浜公園  
 ◇主催 東京新聞・東京中日スポーツ、日本トライアスロン連合  
 ◇共催 東京都  
 ◇特別協賛 NTT東日本

# 新聞展開・・・大会開催前～結果記事の一例



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

### 10月21日 日刊スポーツ

**トライアスロン 関根北京狙う**  
 6年アジア大会銅メダルの関根明子(32)が、今週末から大連で行われる大連五輪の代表を目指す。トライアスロンの日本選手権(21日)の日本選手権(21日)で、関根は「最終戦」が、21日(東京・台場)で開かれる。大連五輪の代表がかかる大会に、北京への最初のステップとなる。関根は「こんな展開になってほしい。狙いたい。第一入賞の届くまでは、体調不良のため欠場する。」

### 10月21日 日刊スポーツ「今日のスポーツ」

恋人探せる!!  
<http://purenet.nk>

東京六大学野球大会(21日) 早稲田大が優勝  
 早稲田大が優勝した。試合は、早稲田大が1対0で早稲田大が優勝した。試合は、早稲田大が1対0で早稲田大が優勝した。

### 10月21日 スポーツ報知「きょうのスポーツ」

女子、上田初V  
 56秒で初優勝した。上田はアジア選手権代表に決定。アジア選手権で優勝した。上田は56秒で初優勝した。

### 10月21日 スポーツニッポン「きょうのスポーツ」

女子、上田初V  
 56秒で初優勝した。上田はアジア選手権代表に決定。アジア選手権で優勝した。上田は56秒で初優勝した。

### 10月21日 東京新聞「きょうのスポーツ」

女子、上田初V  
 56秒で初優勝した。上田はアジア選手権代表に決定。アジア選手権で優勝した。上田は56秒で初優勝した。

### 10月21日 日本経済新聞「きょうのスポーツ」

女子、上田初V  
 56秒で初優勝した。上田はアジア選手権代表に決定。アジア選手権で優勝した。上田は56秒で初優勝した。

### 10月21日 DAILY YOMIURI "Todays sports"

**TODAY'S SPORTS**  
**PRO BASEBALL**—Central League Climax Series, 2nd Stage, Game 4 (if necessary): Dragons vs Giants, 6 p.m., Tokyo Dome.  
**PRO SOCCER**—J.League, (J1) Crampton vs F.C. Tokyo, 2 p.m., Toyota Stadium; Camba vs Ventforet, 2 p.m., Banpaku; (J2) Vegeta vs Cerezo, 1 p.m., Sendai; Montolio vs Verdy, 2 p.m., Nissoft Stadium; Vortia vs Sanga F.C., 4 p.m., Naruto; Hollyhock vs Sagan, 7 p.m., Kasumatsu.  
**PRO GOLF**—Bridgestone Open, final, 8 a.m., Sodegaura Country Club Sodegaura Course, Chiba; Masters Of Ladies, final, 8 a.m., Masters Golf Club, Hyogo.  
**BASKETBALL**—TBL, Hokkaido vs Hitachi, 2 p.m., Tukisamu Alpha Court Dome, Sapporo; W-League: Hitachi Hi-Tech vs Fujitsu, 1 p.m.; Denso vs JAL, 3 p.m., Matsuyama; Ehime: Aishin AW vs Toyota, 2 p.m., Nagoyi; JOMO vs Chanson, 3 p.m., Fuji, Shizuoka.  
**ICE HOCKEY**—Asia League vs Anyang Halla (S. Korea), Nikko IceBucks, 2 p.m., Nikko, Tochigi; Oj Paper vs Seibu Prince Rabbits, 2 p.m., Shirofuri Arena, Tomakomai, Hokkaido.  
**FOOTBALL**—X-League: (East Division) Roobull vs Fujitsu Frontiers, 11:30 a.m.; Central Division: Onward Shyarko vs Meiji Fasuda Pirates, 2:45 p.m.; IBM BigBlue vs Tokyo Gas Creators, 6 p.m.; Kawasaki, Kanagawa; (West Division) Nagai Denki Marbles vs AsOne BlackEagles, noon; Matsushita ElectricImpulse vs Asahi Soft Drinks Challengens, 2:40 p.m.; SFC Kofu Finns vs Nagoya Cyclones, 5:00 p.m., Oji Stadium, Kobe.  
**TRIATHLON**—ITU National Championships, 8:40 a.m., Daiba, Tokyo.  
**HORSE RACING**—Fukushima, 9:50 a.m.; Tokyo, 9:55 a.m.; Kyoto, 10:05 a.m.

### 10月21日 世界日報「きょうのスポーツ」

女子、上田初V  
 56秒で初優勝した。上田はアジア選手権代表に決定。アジア選手権で優勝した。上田は56秒で初優勝した。

### 10月21日 デイリースポーツ

女子、上田初V  
 56秒で初優勝した。上田はアジア選手権代表に決定。アジア選手権で優勝した。上田は56秒で初優勝した。





13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

10月22日 サンケイスポーツ

今年のサンポキョウマリンマラソン制した得意のランで大逆転

一般女子の部

「美顔で走る」がモットーだ。23歳の上田は前年の大会で優勝した。今年も優勝を争った。上田は、今年も優勝を争った。上田は、今年も優勝を争った。

Large advertisement for the Tokyo Triathlon featuring a photo of a female athlete (Ueda) and the text '北京の星だ' (The star of Beijing). Includes 'Shaklee GREEN TOWER' and 'TOKYO PORT' branding.

10月22日 産経新聞



女子、上田が初優勝

上田は衆の接点なきならも逆転でゴールに向かった

「狙い通り」ランで勇躍

10月22日 朝日新聞

田山と上田が日本選手権

10月22日 福島民報

西内(西京味噌)9位

10月22日 サンケイエクスプレス

鉄人藍ちゃん初V

京都出身で中学までは水球に取り組み、洛北高時代は陸上三千名の選手だった。高校3年の夏に初めてトライアスロンのレースに出場して6年目。昨年のドーハ・アジア大会2位で自信をつけ、今回は初優勝を争った。上田は、今年も優勝を争った。

10月22日 スポーツ報知

鉄人の藍ちゃん初V

鉄人の藍ちゃん初V

# 新聞展開・・・大会結果記事の一例



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

## 10月22日 道新スポーツ

### トリアスロン界のヒロイン

# 藍

北京の星だ

「北京の星だ」として、トリアスロン界のヒロインとして注目を集めた上田亜希。今回の大会でも、女子のトリアスロン種目で優勝し、北京五輪の活躍を再確認した。

上田亜希は、今回の大会で女子トリアスロン種目で優勝し、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも5位に入賞し、北京五輪の活躍を再確認した。

上田亜希は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも5位に入賞し、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも5位に入賞し、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 琉球新報

### トリアスロン日本選手権

# 上田初V 田中5位

## 男子は田山4度目優勝

### 田中手応え ランに課題

トリアスロン日本選手権の男子種目では、田山隆之が4度目の優勝を挙げた。上田亜希は初優勝を挙げ、田中浩一は5位に入賞した。

田中浩一は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも5位に入賞し、北京五輪の活躍を再確認した。彼は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも5位に入賞し、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 茨城新聞

### トリアスロン日本選手権

# 田山、圧巻の連覇

## 女子は上田初V

### 得意のランで引き離す

トリアスロン日本選手権の男子種目では、田山隆之が4度目の優勝を挙げた。上田亜希は初優勝を挙げ、田中浩一は5位に入賞した。

田山隆之は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも4度目の優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼は、今回の大会で、男子トリアスロン種目でも4度目の優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 サンケイスポーツ

### トリアスロン日本選手権

# 上田、女子初V

## 男子は田山連覇

### 北京の星だ トリアスロンの王者

トリアスロン日本選手権の女子種目では、上田亜希が初優勝を挙げた。男子種目では、田山隆之が4度目の優勝を挙げた。

上田亜希は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 中日新聞

### トリアスロン日本選手権

# 上田、女子初V

## 男子は田山連覇

### 北京の星だ トリアスロンの王者

トリアスロン日本選手権の女子種目では、上田亜希が初優勝を挙げた。男子種目では、田山隆之が4度目の優勝を挙げた。

上田亜希は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 西日本スポーツ

### トリアスロン

# 上田 笑顔の女子初V

## 男子は田山が連覇

### 笑顔で快走 上田初V

トリアスロン日本選手権の女子種目では、上田亜希が笑顔で初優勝を挙げた。男子種目では、田山隆之が4度目の優勝を挙げた。

上田亜希は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 新潟日報

### トリアスロン

# 上田 笑顔の女子初V

## 男子は田山が連覇

### 笑顔で快走 上田初V

トリアスロン日本選手権の女子種目では、上田亜希が笑顔で初優勝を挙げた。男子種目では、田山隆之が4度目の優勝を挙げた。

上田亜希は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 東奥日報

### トリアスロン

# 上田、田山が優勝

## 女子初V 男子5連覇

### 自信のランで逆転

トリアスロン日本選手権の女子種目では、上田亜希が初優勝を挙げた。男子種目では、田山隆之が5度目の優勝を挙げた。

上田亜希は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。

## 10月22日 神奈川新聞

### トリアスロン

# 上田が初優勝

## 男子・田山が2連覇

### 自信のランで逆転

トリアスロン日本選手権の女子種目では、上田亜希が初優勝を挙げた。男子種目では、田山隆之が2度目の優勝を挙げた。

上田亜希は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。彼女は、今回の大会で、女子トリアスロン種目で初優勝を挙げ、北京五輪の活躍を再確認した。





13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

10月27日 毎日新聞(夕刊)

10月28日 東京新聞

### 「ひろかつ」です

Triathlon Japan National Team

## 北京へ向け独走中

### トリアスロン男子 田山寛豪

来年に迫った北京五輪。横の田山寛豪(27)は、今年11月5日、自走車40分、ランニング1時間、バイク1時間30分、合計4時間15分、という成績で、予選大会を制し、北京五輪出場権を獲得した。この大会は、予選大会として行われ、本大会は、20日の前日合宿、21日の本大会、22日の表彰式と、3日間の日程となる。

「ひろかつ」です。今年、予選大会で優勝した。北京五輪出場権を獲得した。この大会は、予選大会として行われ、本大会は、20日の前日合宿、21日の本大会、22日の表彰式と、3日間の日程となる。

「次元違う」強さで圧勝

「次元違う」強さで圧勝。予選大会で優勝した。北京五輪出場権を獲得した。この大会は、予選大会として行われ、本大会は、20日の前日合宿、21日の本大会、22日の表彰式と、3日間の日程となる。

## 横綱相撲・田山笑う

### 史上最多の優勝4回

#### 精神面の強化で挫折克服

「横綱相撲」の姿にも、いい体感で、北京五輪出場権を獲得した。予選大会で優勝した。北京五輪出場権を獲得した。この大会は、予選大会として行われ、本大会は、20日の前日合宿、21日の本大会、22日の表彰式と、3日間の日程となる。

「横綱相撲」の姿にも、いい体感で、北京五輪出場権を獲得した。予選大会で優勝した。北京五輪出場権を獲得した。この大会は、予選大会として行われ、本大会は、20日の前日合宿、21日の本大会、22日の表彰式と、3日間の日程となる。

### 福井、経験の2位

#### 北京よりロンドン目標だ

福井は、北京五輪で2位に入った。ロンドン五輪を目指している。福井は、北京五輪で2位に入った。ロンドン五輪を目指している。福井は、北京五輪で2位に入った。ロンドン五輪を目指している。

### 男子公式記録

順位	氏名	種別	総合記録	タイム	順位	タイム
1	田山 寛豪	男子	4:15:40	1:08:40	1	0:58:25
2	福井 健	男子	4:16:00	1:08:45	2	0:58:30
3	山本 貴之	男子	4:16:10	1:08:50	3	0:58:35
4	田山 寛豪	男子	4:16:20	1:08:55	4	0:58:40
5	山本 貴之	男子	4:16:30	1:09:00	5	0:58:45
6	田山 寛豪	男子	4:16:40	1:09:05	6	0:58:50
7	山本 貴之	男子	4:16:50	1:09:10	7	0:58:55
8	田山 寛豪	男子	4:17:00	1:09:15	8	0:59:00
9	山本 貴之	男子	4:17:10	1:09:20	9	0:59:05
10	田山 寛豪	男子	4:17:20	1:09:25	10	0:59:10

### 杉本、納得した3位

#### 厳しい日程で自信

杉本は、北京五輪で3位に入った。厳しい日程で自信を持って臨んだ。杉本は、北京五輪で3位に入った。厳しい日程で自信を持って臨んだ。杉本は、北京五輪で3位に入った。厳しい日程で自信を持って臨んだ。

### 2007 N T T ジャパンカップ ランキング

大会	順位	氏名	タイム	順位	タイム
1	1	田山 寛豪	4:15:40	1	0:58:25
2	2	福井 健	4:16:00	2	0:58:30
3	3	山本 貴之	4:16:10	3	0:58:35
4	4	田山 寛豪	4:16:20	4	0:58:40
5	5	山本 貴之	4:16:30	5	0:58:45
6	6	田山 寛豪	4:16:40	6	0:58:50
7	7	山本 貴之	4:16:50	7	0:58:55
8	8	田山 寛豪	4:17:00	8	0:59:00
9	9	山本 貴之	4:17:10	9	0:59:05
10	10	田山 寛豪	4:17:20	10	0:59:10



# インターネット記事展開 (新聞社サイトのニュース欄等における掲載の例)

13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007



10月21日 東京新聞 TOKYO web



10月21日 東京新聞 TOKYO web



10月21日 東京新聞 TOKYO web



10月21日 東京中日スポーツ



10月21日 中日新聞 CHUNICHI web



10月20日 nikkansports.com



10月21日 スポーツ報知



10月21日 SANSPO.com

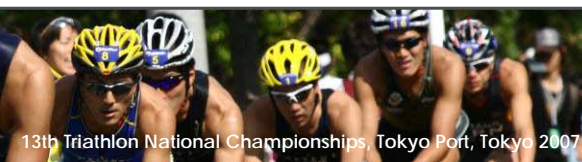


10月21日 asahi.com



10月21日 スポニチ Sponichi Annex

# インターネット記事展開 (新聞社サイト、ポータルサイトのニュース欄等における掲載の例)



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

1021\_デイリースポーツ.pdf (1 ページ)

ちんと、元気?!

トリアスロン女子上田が初優勝

トリアスロンの5年連続優勝者上田が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_徳島新聞.pdf (3 ページ)

センター本館に「近畿い」

徳島新聞Web

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_Yahooニュース(毎日新聞).pdf (2 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_北海道新聞 道新スポーツ.pdf (2 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_岐阜新聞.pdf (2 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

10月21日 デイリースポーツオンライン

10月21日 徳島新聞web

10月21日 yahooニュース(毎日新聞)

10月21日 北海道新聞 道新スポーツ

10月21日 岐阜新聞WEB

1021\_共同通信.pdf (3 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_四国新聞社 SHIKOKU NEWS.pdf (1 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_産経新聞.pdf (2 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_山陽新聞 WEB NEWS.pdf (3 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

1021\_西日本新聞 西スポ.pdf (1 ページ)

女子は上田が初優勝 トリアスロン日本選手権

トリアスロン日本選手権(トリアスロン)が、北信濃新聞社主催の「トリアスロン日本選手権」(5月11日、12日)で、女子の部で優勝した。上田は、バイクの部、ランの部、スイムの部、合計で、50分45秒で優勝した。

10月21日 gooニュース(共同通信)

10月21日 四国新聞社 SHIKOKU NEWS

10月21日 yahooニュース(産経新聞)

10月21日 山陽新聞 WEB NEWS

10月21日 西日本新聞 西スポ



13th Triathlon National Championships, Tokyo Port, Tokyo 2007

放送日	放送局	番組名	番組放送時間	放送内容	放送時間
10月21日(日)	CX	スーパーニュース	17:30~18:00	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会	17:52:40~17:52:45
				【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子優勝・上田藍、男子優勝 田山寛豪	17:54:58~17:55:45
	NHK	ニュース7	17:30~19:00	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子優勝・上田藍、男子優勝・田山寛豪、上田藍会見	19:24:52~19:26:09
	NHK	サンデースポーツ	21:50~22:50	【ニュース・大会結果報道】<北京への道>女子トライアスロン・日本選手権	21:50:55~21:51:12
				【ニュース・大会結果報道】<北京への道>女子トライアスロン・日本選手権 優勝・上田藍、2位・関根明子 コメント:上田藍、関根明子	22:27:26~22:37:10
CX	すぽると!	23:55~24:15	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子トライアスロン	24:07:27~24:07:32	
			【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子優勝・上田藍、男子優勝・田山寛豪 北京五輪予選となるアジア選手権に出場決定	24:09:07~24:09:37	
10月22日(月)	NTV	Oha4!	04:00~05:20	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子優勝・上田藍、男子優勝・田山寛豪	04:53:37~04:54:23
	EX	やじうまプラス	04:25~08:00	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子優勝・上田藍	06:16:30~06:16:51
	NHK	おはよう日本	04:30~08:15	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 女子優勝・上田藍、上田藍会見	04:35:42~04:36:53
				【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 男子優勝・田山寛豪	04:36:53~04:37:00
				【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 優勝・上田藍、2位・関根明子 上田藍会見	07:21:24~07:23:57
CX	めざましテレビ	05:25~08:00	【ニュース・大会結果報道】第13回日本選手権・東京港大会 男子優勝・田山寛豪 田山寛豪会見	06:26:42~06:27:36	
11月11日(日)	NHK BS-1	NHKスポーツオンライン	19:10~20:00	【スポーツ番組・大会模様】 第13回日本選手権・東京港大会女子の部	19:10:00~20:00:00
			20:10~21:00	【スポーツ番組・大会模様】 第13回日本選手権・東京港大会男子の部	20:10:00~21:00:00

## 御礼

大会スポンサーおよびオフィシャルスポンサー各社様、ボランティアの皆様、  
そして多くのトライアスロンファンの方々のご協力とご支援を頂き、  
第13回日本トライアスロン選手権および2007ジャパンカップシリーズを無事に終えることができました。  
皆さまに心から感謝と御礼を申し上げます。

今後とも、トライアスロン日本代表ナショナルチームをはじめとする多くのトライアスリートへ、  
皆さまのあたたかいご声援を宜しくお願い申し上げます。

2007年11月吉日  
社団法人日本トライアスロン連合